



完成イメージ

東地区にある旧子育て支援センター跡地では「ひと・ふれあいセンター」「やすらぎ老人福祉センター」「青少年人権教育交流館(ハート交流館)」「東共同浴場(ときわ湯)」の機能を集約した新たな地域交流センターを建設中です。(令和9年4月にオープン予定)皆様からこの新たな施設の名称を募集します。詳しくは、2ページをご覧ください。



議長

阪口 芳弘

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、心新たに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また平素は市議会に對しまして、温かいご支援と多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、一番に思い出されるイベントは大阪・関西万博ではないでしょうか。

その中でもEXPO2025大阪ウィークと題して、大阪府内の自治体が連携・協力し、大阪の魅力

を国内外に発信するイベントには、貝塚市も参加し、だんじり・太鼓



市長

酒井 了

あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素は市政の推進にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本市では、これまでのベッドタウンから脱却し、昼もにぎわうまちを目指しているところです。特に、南海貝塚駅周辺においては、未着手の都市計画をアップデートするため、今年度、基本計画の策定を進めております。また、JR和泉橋本駅山側地区では、区画整理の機運が高まり、市街化区域への編入を目指しているところです。さらに、市民全体の交流促進と人権課題の解決の拠点とす

べく、東地区で新たな地域交流センターの建設を進めております。

加えて、貝塚ならではの地域資源や施策のPRに努めているなか、東園からのふるさと納税寄付が増加しているほか、インド総領事が太鼓台祭りを観覧されるなど、着実に本市の知名度が向上しております。

また、子どもの居場所づくりの環境である「現代版寺子屋」や不登校支援事業などの本市独自の取り組みは、各方面より注目を集めています。

さて、本年は、これらの取り組みをさらに発展させ、次のステップへと進むための「第6次総合計画」を策定します。この計画が掲げる将来像を実現するには、市民や事業者の皆様のご協力が是非とも必要です。特に、これからの貝塚を担う若い世代には希望するまちの姿の実現のために「自分ならこうできる」といった主体的な参画を期待しております。本年も皆様にとって幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

台の展示、実演や盆踊りの披露、中学生による箏・和太鼓の演奏など、大勢の方に貝塚の魅力を発信することができたことは、非常に大きな意義があり、今後の貝塚市の発展に寄与するものと思います。市議会といたしましては、開かれた議会を目指し、昨年末より期間を設けて議場の見学を開始しました。また、インターネット上の誹謗中傷などの被害から市民を保護するための条例を議会から提案し制定するなど、市民生活の向上にも努めてまいりました。

今後多くの方に市議会をご理解していただけるように、様々な工夫と努力をしてまいります。

市民の皆様には、なお一層のご支援、ご協力を賜りますとともに、本年が皆様にとりまして、より素晴らしい一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

◆障害者用に音声版・点字版の広報も発行しています。ご希望の方は障害福祉課(☎072-433-7012)へお問合せください。また、障害のある方でイベントなどに参加する際配慮が必要な場合は、各問合せ先へご連絡ください。可能な限り対応します。

